

各 位

## 『eMAXIS Slim(イーマクシス スリム)』シリーズの基本理念について

三菱UFJ国際投信株式会社(以下「三菱UFJ国際投信」)が設定・運用するeMAXIS Slimシリーズは、2017年2月設定(当初は4ファンドでスタート)から6年が経過し、おかげさまで、シリーズ合計の純資産総額は3兆9,797億円(2023年3月末時点)と多くの投資家のみなさまにご愛顧頂いております。

当シリーズは「業界最低水準の運用コストを将来にわたってめざし続ける<sup>※1</sup>」というコンセプトのもと、公正な比較対象となる他社類似ファンドの信託報酬率が弊社ファンドの信託報酬率を下回る場合、ファンドの継続性に配慮した範囲で信託報酬率を引き下げることが基本としています。ただし、当シリーズが信託報酬率を変更する際に参考とする類似ファンドの中には、弊社のeMAXIS Slimシリーズでは信託報酬に含めている「ファンドの計理業務」、「目論見書・運用報告書の作成に係る費用」、「対象指数(インデックス)の商標使用料(ライセンスフィー)」などを信託報酬とは別にファンドに請求しているものもあります。

長期投資において運用コストは、投資家にとってファンド選定の重要な判断材料だと考えます。現在、運用会社によって信託報酬率等の運用コストに関する開示の仕方は異なりますが、弊社といたしましては、目論見書・運用報告書への「ファンドの総経費率」の開示を進めることで、ファンドで負担したコストについてより投資家のみなさまにご理解いただけるよう取り組んでまいります。このようにファンドの運用コスト比較に際し、信託報酬率のみではなく、海外でも一般的な「総経費率」を併せてお伝えすることで、よりお客さま視点に立った開示を進めていきたいと考えております。

さらに、インデックスファンドの運用において重要なことは、対象指数への連動性を高め、トータルリターンの上をめざすことだと考えます。最良執行による取引コストの削減や有価証券の貸付(レンディング)の実施による収益獲得等といった取り組みも継続的に行い、パフォーマンス向上に努めてまいります。

三菱UFJ国際投信は、より一層、商品開発力と運用力に磨きをかけ、お客さまの多様なニーズと信頼にお応えしてまいります。また、SNSなどを活用した情報発信や、投資家のみなさまとの直接的な対話を通じてご要望をお聞きしながら、弊社がみなさまにとって身近な存在となるよう努めてまいります。引き続きご愛顧を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

※1 業界最低水準の運用コストを目指す一環として、公正な比較の対象となる他社類似ファンドに係る信託報酬率が弊社ファンドを下回る場合、ファンドの継続性に配慮した範囲で信託報酬率を引き下げることが基本とします。ただし、信託報酬率が業界最低水準となることを、保証等するものではありませんのでご注意ください。

■eMAXIS Slim(イーマクス スリム)についてはこちら URL:<https://emaxis.jp/lp/slim/pr1/index.html>

■[eMAXIS Slimシリーズのリスクとお客さまにご負担いただく費用について](#)

**【当資料のご利用にあたっての注意事項等】**

■当資料は、三菱UFJ国際投信が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は投資勧誘を目的とするものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

■クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。

三菱UFJ国際投信株式会社  
東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

以上